

「米坂線に乗って、米坂線を写そう！」フォトコンテストの審査会が2月8日に行われ、入賞作品が決定しました。

コンテストは、米坂線沿線市町村で組織されている米坂線整備促進期成同盟会（平田大六会長）の主催で毎年行われているもので、今年で4回目。撮影期間は1年間で、22名の方から58点の応募がありました。

## 第4回

# 「米坂線に乗って、米坂線を写そう！」 フォトコンテスト入賞作品

\* 敬称略。作品はカラー写真です。

相馬  
鋼（新発田市）



最優秀賞  
「静寂」



優秀賞  
「米坂線を渡って」

近 伸 太 郎（新潟市）

入選

「一番列車のために」



横 山 哲 夫（飯豊町）

入選

「隧道進入」



永 田 貴 之（新潟市）

入選

「晩 秋」



渡 辺 アツシ（福島市）

ご当地賞

「通 学 路」



吉 村 英 俊（高畠町）

ご当地賞

「朝日を浴びて」



大 湊 千 広（米沢市）

ご当地賞

「ただいま到着」



高 橋 広 行（南陽市）

## 先生から 先生に



丹後直子先生

(関川中学校 教頭)

# 随想リレー

73

平成二十二年四月、関川村内五つの小学校が統合され、関川村立関川小学校として輝かしい歴史の幕を開けました。私の息子たちが十二年間お世話になった、胎内市立柴橋小学校も百二十八年間の歴史に幕を閉じ、統合されて、この春胎内小学校となりました。長男が入学した十二年前は、全校児童数百二十人以上でしたが、昨年末には六十六人にまで減少し、保護者の間では、統合を待ち望む声が多く聞かれていました。

ふだんは、あまり子どもたちの声の聞こえない柴橋地区も、年に一度、若者と子どもたちの元気に沸きたつ日があります。それは祭りの日です。地区には「獅子踊り」という伝統芸能が残っています。踊り手は男の子たちと若者たち。笛と太鼓のお囃子に合わせて、三人一組で踊ります。二十歳前後の若者たちが地域の男子たちに、約一か月間毎晩踊りを教え、面倒をみてくれます。皆、地区の伝統を受け継ぐことを誇りに思っています。

5月1日号は、新・関川小学校の先生にバトンタッチ！



「ご当地賞」  
「残り柿」

堀川 邦弘  
(秋田市)



「ご当地賞」  
「ポイント切換」

川上 貞憲  
(村上市)



「ご当地賞」  
「踏切りの除雪作業」

阪野 吉平  
(川西町)



「ご当地賞」  
「一番列車疾走」

齋藤 徹  
(飯豊町)

\*紙面の都合でお名前のみ紹介します。

佳作 小笠原弘(長井市)・酒井次生(米沢市)・山中英一(山形市)・小笠原千代子(長井市)・安藤堅一(寒河江市)・遠藤一義(米沢市)・堀川明彦(郡山市)・渡邊雅雄(寒河江市)・栗賀亮輔(東村山市)

審査員特別賞 渡邊アツシ(福島市)

入賞作品は米坂線整備促進期成同盟会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.flowering.ne.jp/yonesaka/>